



社会福祉法人 長崎いのちの電話
(発行人) 古賀 義 (編集) 広報委員会 〒852-8799 日本郵便長崎北支店 私書箱45号
TEL 095-843-4410 FAX 095-844-3600 ホームページ <http://ngsk4343.sakura.ne.jp>

1面 柿田新理事就任挨拶 他
2面 29期生相談活動開始 他
3~6面 本田神父様講演抄録
7・8面 寄付・賛助(半期)報告



柿田多佳子

ご挨拶 理事就任に際しての

このたび、理事に就任させていただくこととなりました柿田と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

最初に、少しでも自己紹介がてらに私の略歴を書かせていただきます。

私は、1982年4月から2020年3月まで長崎県職員として勤めておりました。社会福祉専門職でしたので、入庁後、最初の職場が児童相談所、その後は福祉事務所や県立施設、県庁の児童福祉担当課等に勤務し、38年間の勤務歴のうち、32年間を児童福祉関係の職場で過ごし、かつ、そのうちの25年間は児童相談所業務に携わりました。長きに亘って様々な相談機関において心理や福祉の仕事の続け、体験してきたことは、現在の私の貴重な財産となっています。

2020年4月からは、縁あって、長崎純心大学に教員として勤め、保育士養成の立場から、保育実習指導及び児童福祉関係科目等を担当しております。

長崎いのちの電話の皆さんとお付き合いも長く、おそらく10年以上前に、ご依頼を受けてスーパーバイザーをさせていただいたのが最初ではないかと思えます。当時、相談員の皆さんがご自分の時間と労力を費やして、自殺予防を中心に人々の悩みの相談にのる電話相談活動に熱心に取り組んでおられる姿に、本当に心を打たれました。頭の下がる思いでスーパーバイズの時間を共に過ごさせていただいたことを印象深く覚えています。

その後、しばらくの間、スーパーバイズをお休みさせていただきましたが、少しでも皆様のお役に立てればと思

い、ご依頼があれば電話相談員養成講座の講師等を引き受けさせていただいておりました。相談員の皆さんの相談に向ける熱い思いは、スーパーバイザーとして復帰した今年度も変わらず感じ続けておりました、私もなんとかその思いに応えたいと考えているところです。

今回の理事就任につきましても、前任の谷口理事さんの「思い」を引き継いで、皆さまと共に長崎いのちの電話を盛り立てていければと考えております。「思い」を繋げていくことはとても大事で、そして、素敵なことだと感じています。

私自身、理事としてどれほどの貢献ができるのか、甚だ自信はありません。ですが、「微力だけど無力ではない」、この言葉を信じて、前に進みたいと思います。

長崎いのちの電話を支えてくださっている皆さま方のご理解、ご協力を賜ることができましたら幸甚に存じます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

訃報

長崎いのちの電話理事・研修副委員長であった谷口フミ子さんが、9月5日に逝去されました。享年74歳。

ご遺族の会葬御礼に喪主であるご主人の書かれた谷口さんの「歩み」が添えられていました。故人を偲び冥福をお祈りしつつ、ここにその文面を紹介させていただきます。

新潟大学ではワングル部に属し、山を愛し、体を鍛える。卒業後、神奈川県内の小学校で3年間教職につき、子供達に慕われる。結婚を機に長崎に移り、小学校や特別支援学校等で多くの子供達と触れ合う。上五島ではコーラスのグループに入り、歌うことの楽しさを知る。長崎でもコーラス活動を続けながら、市の子育て支援課に勤め、虐待問題に関わる。更に「長崎乳精研」においても、乳幼児と家族の心の健康を守り育むための勉強会にも参加していた。しかし、彼女の最大の活動は20数年にわたるボランティアで取り組んだ「長崎いのちの電話」であったと言える。どんな時も休むことなくこの仕事に専念できたのは、自分のことより相手のことを優先する性格の故だと思う。やや早すぎる旅立ちではあったが、本人はこの仕事に出会えたことに十分満足しているものと察するのみである。

喪主

谷口理事ご逝去に伴い

後任理事に柿田多佳子さんを選任

当法人理事の谷口フミ子さんのご逝去に伴い、後任理事として柿田多佳子さん（長崎純心大学人文学部こども教育保育学科准教授）に就任いただきました（書面評決方式による評議員会で選任決定）。当面の任期は、谷口さんの残任期間（2023年6月開催の定時評議員会終結のときまで）となります。

なお、就任ご挨拶を本紙・1面に掲載しております。

【柿田多佳子理事 略歴】

1982年九州大学教育学部（心理学専攻）卒。

同年より長崎県庁に社会福祉職として児童相談所、県立施設、福祉事務所、こども家庭課などで勤務。2015年佐世保こども・女性・障害者支援センター所長、2018年長崎こども・女性・障害者支援センター所長。2020年3月県庁を退職し同年4月より現職。県職員として32年間児童福祉業務に携わった経験を活かし、大学で児童福祉などについて教育、研究している。

29期生・11名が電話相談員に

長崎いのちの電話相談員養成講座第29期生・11名（女性・7名、男性・4名）が、11月6日に電話相談員として新たに認定を受け、早速、電話当番活動を開始しました。

通算して490名の相談員数となりました。また、30期生・9名が1年後の認定を目指し、11月からの電話相談員養成講座後期講座に進んでいます。

相談電話開局28周年記念公開講演会 本田哲郎師を迎えて開催

長崎いのちの電話は、1994（平成6）年11月5日に相談電話業務を開始し、28年が経過しました。これを記念して、フランシスコ会の本田哲郎師（カトリック司祭）を講師に迎え、去る11月6日に公開記念講演会を開催しました。

講演の前半部分につき、講演抄録として本紙に掲載いたします。なお、講演全体は、ホームページに掲載しております。また、ご希望の方には貸出用DVDを用意しておりますので、事務局までお申し出ください。

長崎いのちの電話開局28周年記念公開講演会 講演抄録

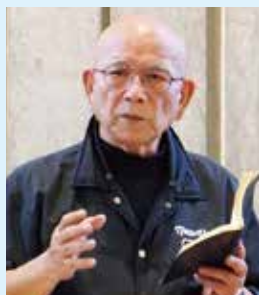
【演題】

釜ヶ崎で共に生きて、見えた「真実」

コロナ禍で すそ野広がる「貧しさ」と「孤独」

～今こそ、人が人として幸せに生きられる社会を～

講師：カトリック司祭 本田哲郎師



皆さん どうぞよろしくお願いいたします。

先ほどの打ち合わせの中でね今日五島からも来られているって聞いたんですけど。五島には神学生時代のお友達たくさんいたんですよ、戸村さんとかね山口さんとか。それは、ともかく……。

私の話を聞いても、おそらく傾聴を軸にした電話相談を受けてらっしゃる方にとってはあんまり役に立たないかもしれません。皆さんの方がむしろ専門家と言うかベテランだと思っています。

ただ場所が違って、私は釜ヶ崎と言うところで34、5年、時を過ごしています。そこで私にとって一番素晴らしい教会を見つけたんです。私はクリスチャンです。

先ほど紹介ありましたように台湾の台中というところで生まれて3ヶ月2ヶ月位して洗礼を受けてしまいました。

それから敗戦の年までの3年間過ごしていたんですけども、敗戦の時に慌てて一家揃って逃げ出すみたいだね、そんな動きもあったみたいです。でも私何にも覚えていません。ただ台湾から引き上げる時にただひとつだけ記憶に残ってるのは、なぜか分からないんですけど、こんなすごい階段を船の中、階段を滑り落ちそうになりながら地下の部屋まで下って行った。そこだけが記憶に残ってます。

その頃から、若いころから記憶があまり頼りないみたいで、今はもっと頼りなくなってます。今は79歳で間違いなく認知症かなと思ってます。でも、認知症も悪くないよって、私はそのように開き直ってます。

力は弱さの中でこそ発揮される

なぜなら、「力」。「力」は、本当の意味での力は人間力っていうか、或いは神が与える力っていうか、それは弱さの中でこそ発揮されるって。これが今から2000年前に執筆されたギリヤ語で書かれたあの聖書と呼ばれる本の中に。コリントの人々への手紙っていうその中の一節として書かれています。

「力は弱さの中でこそ発揮される。」……

ですから、私たちがボランティアとして、私の場合は釜ヶ崎ですけども、皆さんの場合は色んな悩み、命の問題でぶつかってる、そんな人たちにどんな風に関わるのか。これ皆さんの経験から色々おそらくお知りになってらっしゃることだと思いますけれども「力は弱さの中でこそ発揮される」……。

その力は、相談して下さる方と相談に応える側と力はどちらが強いですか？大抵は相談を聞いて差し上げるこちらが強いもんだっていう風に関わる本人自身が大体そう思ってしまう。

だけど、本当は違うよって。

これはね、カトリック教会の中では、第二バチカン公会議ってのが40年前か50年前くらいにありました。大体100年に1回くらい信仰の理解の見直して言うのを世界レベルでやるんです。それが公会議。その公会議の中で、貧しい人達を優先的にオプシオンする。選び取る。これが50年か40年前の公会議の時に日本の中では、新聞とかラジオで公表された時に、大体8割から9割が勘違いしました。

貧しい人達を優先的に選び取るってのは、その人達のために私に何ができるだろうかって、「私」の側しか考えなかった。何をしてあげることできるの？。今までちゃんとやってたの？ やってなかったでしょ・・・、そういう反省とともにね。

せつかく第二バチカン公会議が「解放の神学」というものに基づいてね、きちんと従来の大事なポイントを押さえて示してくれたにもかかわらず、私たちは、遠く離れた日本の教会では「貧しい人探し」をやり始めた。誰が一番、貧しいだろう。誰が一番、手を差し伸べなきゃならないんだらうか。そんな風に探されちゃった。

例えば、いのちの電話に相談してくださる方、相談で必死になって訴えてくださる方はガッカリでしょうね。

「あんたらがいくら熱心に聞いてくれたって私は何も変わりはないよ」って。「そんなんで良いの？」って。

「何かしてあげる」気持は捨てて

大事なことは、私は無力じゃない、多少の力はある。だから、その力でなにかしてあげるんだ・・・とそういう風に、つつい考えがち。だけど、その微妙な違いであったとしてもそういう対応される当人にとってはピーンと来てしまいますよね。わかります。

どんな積りで私の電話受け取ってくれてるの？って。

どんなつもりで釜ヶ崎で私達のために働いていると言ってるの？って・・・。徹底して、価値の転換って、これが大事みたいですよ。

例えば、早い話が、こちらの皆さんの中にはボランティアやってる方の中にはキリスト者もいらっしゃるって聞いてます。プロテスタント教会の人とも聞いてます。他の宗教の方もいらっしゃるかもしれません。それにしても、私たちは宗教を使って相手を取り込もうという、そういうセコイ考えを持つてる人が、もし、いたとしたら、それは絶対成功しない。

いま世間で流行ってるでしょ「統一教会」。元統一教会の問題。あれで、色々あの手この手で献金させる手口ってのは、例えばカトリック教会が、シラってやってきたこととあまり変わらないです。大して変わらないですよ。それ程ドギツクはやらなかった・・・だけの話です。

宗教がどんなに素晴らしい歴史的な、太鼓判を押されたとしても、そして特に長崎なんか殉教者とかいろいろな迫害を受けた人達を先祖に持つ人たちが沢山いらっしゃるわけでしょ。結構それを頼りにしようとするセコイキリスト者が少なくてもたくさんいる。

「あんたがやったんじゃない、あなたの先祖が頑張ったんでしょ？」。それを自分の先祖だからと言って、自分が何か特別な位置にあるかのような、そういうふうな勘違いはしたらだめだと思いますよ。

それよりも全く宗教的な意味では無味無臭でね、皆さんが基本的に使ってらっしゃる傾聴。

傾聴って、こう耳を本気で傾けてとにかく聞き取らせていた

だく。これは弱い立場に立たされていればいるほどその人達の感性はものすごく敏感なんです。こちらが多少なりとも、この程度ならちょっとリーダーシップ発揮していいかなと思うようなそうゆうものがもしあるとしたら、それはピーンと分かると思いますよ。

それは釜ヶ崎の労働者との関わりにおいても全くその通りなんです。ね。

自分も他者も本気で大切に

もしキリストちゃんの方がある程度いらっしゃるなら『愛することを自分の使命』だと思わないで欲しい。

キリストちゃんたちがよく言うんですね、「自分を愛するように隣人を愛しましょう。」って。言葉としては美しいけれども、皆さん、自分を振り返ってみてください、いまだかつて自分自身を愛していると自覚したことありますか？これ聞いかけです、皆さんへの。

うっかりすると、「私は自分を愛してる」ってつもりになっていることが多いです。自分を愛してるつもりだから、それに見習いながら隣人・友達と、どうかかわったらいいか・・・私は、知ってますよって言いたくなるわけですよ。

聖書で繰り返し繰り返し言われる「自分を愛するように隣人を愛しなさい」って、これが訳がわからない。

皆さんの中に本当に芯から自信持って言える人、いるかしら。「私は自分自身を愛してます」って。・・・おそろくないと思いますよ。

「私は、自分自身を大切に思ってます。」これはあります。間違いなく。大切に・大事に・・・似たような調子だからと言って、「愛する」と「大切に」をひっくり返してもいい・・・冗談じゃない。

皆さん、キリストちゃんたちが「すべての人を愛しましょう。」ってよく言うでしょう。私、キリストちゃんですよ。キリストちゃんが好きでも嫌いなわけでもない。だけど、キリストちゃん自身がそれをはっきり言わないと、いつまで経っても変わっていかない。

神父たちや司教さんたちも、実は私としては変わって欲しいんです。考え方・捉え方・・・。

カトリック司祭本田哲郎師ご紹介

【略歴】

- 1942(昭和17)年 台湾・台中生まれ
- 1965年 上智大学神学部卒業、フランシスコ会に入会
- 1971年 司祭叙階
- 1972年 上智大学大学院神学部修士課程修了
- 1978年 ローマ教皇庁立聖書研究所卒業
- 1989年 大阪西成区あいりん地区の社会福祉法人「ふるさとの家」施設長、1998年退任
- 1991年より 大阪釜ヶ崎にて日雇い労働者に学びつつ聖書を読み直し、また「釜ヶ崎反失業連絡会」などの活動に取り組んでいる。
- 新共同訳聖書の編集委員

【主な著書】

- 「釜ヶ崎と福音～神は貧しく小さくされた者と共に」
2006年岩波書店より出版
- 2016年「岩波現代文庫」として再刊
- 「聖書を発見する」 2010年岩波書店
- 「聖書と歎異抄～これまで語られなかった真実」
2017年東京書籍 五木寛之氏と共著

「自分を愛するように隣人を愛するんです」って平気で言うんですよ、だけど、自分を愛したという実感が無いのに……。自分を大切にしているという実感はあります。

自分を大事にしたいっていう気持ちもずっと誰にも負けずにあります。だけどそれが愛することと同じなの？ 実は違うみたいですよ。

私も何冊か新約聖書の翻訳で本を出しました。その中で、愛するっていう言葉一切使ってません。

たとえばヨハネ福音書のあるところに、「私があなた達を大切にしたいように、あなたたちも互いに大切にしたい。これが私が与える新しい掟です。」……。これが、キリストの言った言葉としてギリシャ語でちゃんと残ってます。で、それを「愛」という言葉に置き換えるから訳が分からなくなるんです。

私があなた達を大切にしたいように、そうだ、私たちも仲間を大切にしよう。これは OK なんです。愛するっていうことをキリスト教が余りに使い過ぎるから訳が分からなくなるんです。

愛する。愛は盲目だって時々歌の文句かなんかで聞くことあるでしょ。私はあなたを愛してるんだよという風に押し付けがましく迫る。これが愛される側にとって一番鬱陶しいんです。皆さんも気をつけてください。

私はあの人、この人愛します。差別なく愛したいんですって。それが私たちの使命ですって、よく言うんですけども、そういうアプローチの仕方をされる時、そのされる側にとってはそんなの一番鬱陶しい。それよりも、自分が大切にされること、本当に大事にして、人から大切にしてもらいたい。

だから、友達も隣の人も、今日も出会うかもしれないその人を本気で大切にしようね。これが聖書に書かれている本来の意味なんです。

それはちょっと待ってよって。愛されるって言う事はそれなりに価値はあると思うけれども、自分はあるから愛されたくないって、これ選択肢があるんです。それを愛する側は考えないと……。全く無視。私はあなたを愛してるんだから少々のことは我慢しなさいって、もうこれは傾聴にはならないでしょう。

自分で自分を愛したこと、おそらく私の79年間のクリスチャンとしての生活の中で体験がないんです。人間ってのは、自分を愛することができるの？ 出来ないと思います。自分を大切にすることはできる、大事に思うことはできる。だけどそれが愛するって言えるのかしら……。

私、釜ヶ崎に89年の11月に東京から引っ越してきたんですけども、その時以来、自分なりに何かしてあげよう、これしてあげたら喜んでくれるかなって内心期待してね……。けど自分と先輩たちの間にあまりにも文化とかいろんな社会的立場としての開きがありすぎて、とてもじゃないけど同じようには言えないよねって。

けど、私がね、それは自分がまだ相手と同じ立場に立っていないからだ。上から目線でやってるからいつまでもそうなんだ。って、自分なりに答え出したつもりなんです。そんな時に、ある野宿をしている労働者に言ったことあるんです。私まだあなた達のようにちゃんと野宿したことないからなあって。何も分かってないかもしれないって。そう悔し気に言ったら、その相手はなんと答えたか？「ちょっと待ってよ、本田さんって。あんたがそこら辺で野宿してくれたって私ら何の足しにもならないよ。少しも楽にならないよ」って。

同じことをすることが、まるで素晴らしい歩み寄りであるかのように考えてしまう。それは間違いです。

「人の下に立つ」ことの難しさ

「私まだ一度も野宿したことないからな」って言ったら、その答えが、あんたが野宿してくれたところで私らにとって何の足しにもならないよ。言われてみればそうですね。

私らが横で野宿して炊き出しがある時に列に並ぶと、並んだ分だけ彼らが食べる分が減るだけだ。どっかで私たち、見当違いの同情、見当違いの「コンパッション」やってる可能性があるんです。それは多くの場合、キリスト教的な思想の勘違いから。私があなた達を愛したようにあなたたちも互いに愛し合いなさいって、これが従来の聖書に書かれた言葉の翻訳なんです。神が私を愛したように私たちも互いに愛し合う……。

だから最初に申し上げてたように、傾聴っていうことがそんな簡単に出来やしないんじゃない？って。だけどあくまでも傾聴を目指す、心がける。これは相手がハンディキャップを持っている人、より弱い立場の人に対してだけ傾聴すればいいってこと……。でもなさそうなんです。

例えば、日本語で「理解する」っていうのは英語の中学生ぐらいの英語でも出てきますよ。Understanding。

アンダースタンドって何ですか？ アンダーとスタンドです、理屈っぽく言うと。相手よりも下に立つ、これしかない。腰をかがめてみせたぐらいじゃ「Understanding」にはならない。

押し付けがましい「人を愛する」

けど私たちはそのギリシャ語では「アガペー」と言う言葉を使うんです。それは愛すると訳したら間違いでした。ギリシャ語の根本の出発点から間違ってた。なぜなら歴史的な裏付けもあるんです。大体16世紀ごろの日本のゾリゾリしていた時期に、時々神父なるものがやって来て、その時にフィリピン経由でギリシャ語の聖書の一部翻訳を日本語にして持ってきてる。そこで、ヨハネの福音書のアガペーってね、それを翻訳してるんですけど、それを何と翻訳したか？ アガペーは愛するじゃないんですよ、愛でもないんですよ。「大切にする」。

愛するって言う時にだいたいね結構押し付けがましいことはあるんです。相手に有無を言わせない。「愛してるんだから……」。それに対して、「大切にする」は、その人の尊厳、その人の思い、のぞみ・希望それを全てひっくるめて共有しようって。これが「大切にする」。

もし皆さんの中でクリスチャンで、教会からさんざん教わってきた愛することを軸にこのボランティア活動すればいいのかなあ……。なんて絶対思わないでください。

無理やり愛される側に立たされたとき、自分のリアクションはどうなる？

この人が善意で一生懸命迫ってくるのは分かるんだけど、そ

〈相談電話〉095-842-4343

年中無休 9:00~22:00 (第1・第3土曜日は9:00~翌9:00)

0120-783-556

※毎月10日 全国一斉フリーダイヤル
8時~翌8時 自殺予防いのちの電話
※コロナ禍 毎日フリーダイヤル16時~21時

あの・・・、いのちの電話にボランティアとして関わってくださってる方達、ちょっと目には結構年配の方が多くいますよね。そう言うと失礼かなと思ったりもしたんですけど、年配になって体があちこち不自由を、人のことじゃなくて自分のこととして体験できるようになった時、初めて弱い立場に立つてどういうことなのかと。社会的に小さくされるってどういうことなのか、初めて分かるわけなんですよ。

私も、そうですね10年前くらいに、まだ元気バリバリの、道歩く時には何人抜けるかくらいの調子でパッパ、パッパ歩くのが自慢でした。だけど知らないうちに、いつの間にか自分が普通に歩いてるつもりでも、さっささささ追い抜かれていく。アラー!!。これがいやおうなしにある意味で弱い立場に立ち始めだと。自分をこんなにものろいはずないと思ったんだけど、あそこ歩いてる人、パッパと抜いていけると思っていたのそれができない自分に気が付く。

だから、本当の人と人を支え合う力って、弱い立場に立つ人ほどしっかりと持ってるよって。いろんな意味でねノウハウ・テクニックを知識として学んでないことが多い。間違いなく弱い立場の一人なんだけどもそれが意外と仲間のためになってないってことがある。

これはその人のせいじゃないんですよ。

私たち、聴く身になって見直すって教会が大好きな言葉があるんですよ。聴く身に立って見直す。どうしたら聞く身に立つの?もう貧乏になればいいのかな?って。貧しさ競走、貧しさごっこしてしまいがち。貧しければ、小さくされた仲間なの?・・・必ずしもそうではないですね。

自分が努力して弱い立場を選択したとして、そんなことで本当に弱い立場に立つ人達の仲間と等しくなれたと思ったら大間違い。

私は釜ヶ崎に来て・・・そうですねもう30何年経つ。

そのうちの最初の10年ぐらいいは、「ふるさとの家」っていう宗教法人で建てた、ある意味で社会施設みたいな、居場所提供的な場所。そこにいました。

今も、畳2畳分の部屋のアパートに住んでいます。だからそのぶん家賃も安いんです。1万7000円。畳2畳。もちろん風呂もなければシャワーもない。だからお風呂やシャワーは一週間に一遍くらい曜日を決めて銭湯に行こうと。曜日を決めないと、私ルーズだから次いつお風呂に行く気になるか分からない。だから、週一回というふう決めて。

それにね、結構今年も南京虫多かった。あのトコジラミ。葉屋さんなんか行くとトコジラミに効く煙の出るやつ、今年の夏は10個くらい使いました。それでようやく涼しくなってあんまり悩まされなくなりました。

社会的に小さくされるってのは、ちょっとやそっとの努力じゃなれはしませんよ。最低限度の他の人たちよりもそれなりの学校とか資格とか社会的な何か立場持ってたなら、いくら努力しても一番弱い立場の人の一人にはなれません。教会の人たちが間違っているのは「努力すればなれるんだ」って思いこんじゃってる。「その気になれば私もイエスと同じように一番小さくされた者の一人になれます。」と勘違いする。なれはしませんよ。

上から目線になり勝ちな私達



仮に何らかの拍子に、一番小さくされた仲間の一人と同じくらいになったとして、それが逆に誇りになってしまう。「俺を見ろ」。「やればできる」・・・こういう、もう何かの拍子に私たちは上から目線にスイッチしたがるんです。

この中にクリスチャンの人、結構いるのかもしれませんがけれどもクリスチャンの場合、洗礼を受ける。っていう。

洗礼っていうのは、聖書の、新約聖書言葉で「バプテスマ」、これが洗礼。そしてバプテスマっていうのは、教会で言うとカトリックとプロテスタント教会もほとんど全員一致して間違っている解釈。洗礼っていうのは「洗う」に儀式の「礼」って書くでしょ。洗礼・・・洗う儀式。

洗礼を受けた人は他の人よりも清められたんですよ、っていう風に自慢したがるんです。私はその辺で非常に悩みました。

私は確かに生まれて3ヶ月ぐらいいで洗礼を受けたけれども、同じ歳で同じ小学校に行ってるあの友達と自分どこが違うんだらう?同じやないかって・・・。

洗礼っていうのはバプテスマ。「メタノイア」、よくこれも教会で勘違いして翻訳されるんです。「メタノイアって悔い改めのことですよ」って平気で言う。「あなたたちは洗礼を受けたんだから当然悔い改めの生活に入ってるはずですよ」とよく言う。だけど、人間は努力すれば、悔い

改めることできるのかと思つたらとんでもない。

メタノイアっていうのは膝を低みに移すってこと、どこから見るの?って。普段見慣れたその目線の高さ。そこがグーっと関わろうとしてるその相手よりももっと下に位置づけられて初めてメタノイアが成り立つ。

洗礼って言うのは、洗い清めるそういう儀式ではない。

聖書に出てくる最初に出てくる洗礼者ヨハネ。イエスよりもちょっと年上の人。色々活躍したんだけど、彼は洗礼の儀式行つたけれども、「私はたかだかあなた達を水に沈めるだけ。」・・・1回ヨルダン川の川面の下まで水くぐらせて立ち上がったいく。

そのヨルダン川ってどんな川か知ってます?ガリラヤ湖から南の方にずっと流れている。で、その行き先は死海。生き物一切住めない汚れ切った、塩も含めてね汚れきった水。

イエスの弟子たちは漁師が多かったってよく言うんですけども、それどこで漁してたの?って。地中海じゃないんですよ。ガリラヤ湖。ガリラヤ湖っていうのは地中海の高さに比べたら、200メートル低い。そこに水面があるんです。そしてそこからさらに南の方にヨルダン川を伝って水が流れて行くでしょ。その行き着く先が死海。どうしようもない生き物も生きることの出来ない水。だから、どんどん汚れていく水の途中で洗礼の儀式をやったっていう、これは洗い清めの儀式であるはずがない。聖書学的に見てね。

だからもし洗礼を受けた人って洗礼を受けてない人よりも清いんです。「私は洗礼を受けたからアダムとエバの罪から解放されてる。」ま、そんな風に「洗い清めてナンボ。」というような、そういう価値観じゃないんだって。

むしろ日本の古い言い方にあるように「泥水をくぐる」って



講演中の本田哲郎師

(長崎新聞社二次使用承諾済)

言葉、聞いたことあるでしょ。お友達や仲間、しんどい思いをしているときに一緒になってそれ手伝う。泥水をくぐる。その腹が座った時に初めて洗礼を受けたと自慢できる。

色んな意味で見直しはされないと、「勘違い」が突き進んでしまう。

傾聴とは相手より下に立つこと

皆さんの努力でやってらっしゃる傾聴。やっぱりね、これが人間と人間の関係性。それ以上に大事なものはおそらくないと思うんです。傾聴こそが、本当のコミュニケーションする手段。

「傾聴」って、フンフンって電話に耳かさしてるだけではないんですよ。こういう表現を通してこの人が何を訴えたいのか?って。どんな辛さを語ってるのか。傾聴・・・、それが出来るためには「Understanding」

傾聴って普通に翻訳すればアンダースタンドで、相手より下に立って、しっかり聞き取らせていただく。相手と横並びじゃないんです。相手より下に立つ。非常な苦しみの中で、死のうかどうしようかと悩んでいるその人よりも、もっと下に立ってください。

その人に何かアドバイスしてあげようなんていう気持ちがあったら、おそらくそれは傾聴にはならないでしょう。

あア、そうなのって、納得させていただくような、そういう関わり。アンダースタンディング。相手よりも下に立つ。スタンドアンダーアザーズ。相手よりも下に立つ。アンダースタンドこそ本当の意味でのコミュニケーションの土台になってるということですね。

それが私たち経験積めば積むほどだんだん自分の目線が上に背伸びしてしまう。背伸びするから、この人の悩み、どっちへ導いてあげれば良いかなとか、どんな解答があるだろうかって、ついそこへ行きたがってしまう。

お母さんが、あの乳飲み子をあやす時のすごい専門家としてのね。あれすごいと思いますよ。子供が嫌がって何故か泣き始めた時に、さすが色々軽く触ってみたりとかね、目の色見たりとかね、やっていく中でアンダースタントするんです。子供は何も喋ってくれない。どこが痛いとも言ってくれない。でも何故か満足。

それを世の中の全ての母親たち、なぜかアンダースタンディングで言葉も言えないその赤ちゃんの気持ちを理解してくれてるんです。私もそうやって育てられました。

母親になった人が特別どこそこのミッション系の大学出たとかそんなこと一切関係ない。何も知らなくても何の学校に行くチャンスもなかったとしても、なぜかアンダースタンディング。家族の中で自然とそれを身につけていくんです。私たちも原点にかえって、すごく身近なところで自分のかあさんがやってたこと、それを自分もやろう。それが傾聴、アンダースタンディング。

よく聞き取るっていうことも、それは大事ですけど、それ以上に相手よりも下に立って聞かせてもらう。解決はきっと自分よりも相手の方が知ってるに違いない。どうしたらいいんだろう。そういう意味でアンダースタンディング。

「愛する」よりも「大切に」

3時ですね、そろそろ終りにしないといけないですね。

私、これまで普通に常識的に皆が認め合ってきたことを結構ズケズケと否定してきました。愛するっていうこと、位置を下

げて下さい、どっか置いてきて下さい。

愛することよりも大切にすること。どれほど大事なことがか。

キリシタン時代に、その今私たちが、平気で愛する愛すると言ってる愛ということ、アガペーを「お大切」としか訳さなかったってこと、歴史的な事実なんです。

日本の先輩たちがそのアガペーをどう訳出したらいいいんだろかって。それを明治時代、結構何気なく中国から取り入れた愛っていう言葉をそのまま当てはめようとした。「愛」って言葉が短い分かり易い。よしこれでいいんじゃないって納得したんでしょね。

だけど、16世紀のキリシタンたち宣教師たちを通してその同じアガペーをなぜか「お大切」としか訳さなかった。つまり大切にすること。愛することよりも、大切にすること、どれほど大事かって。

この辺がね、結構ねクリスチャンにとって落とし穴。或いは教会に対して好意的な友達関係を守ってくださっているクリスチャンでない人たちもうっかりすると同じ病にかかっている。

聖書の中で愛するという言葉、やたらめったら使う。

コリントの人々への手紙の中で、『求めるべきは人を大切にするというカリスマ。あなたたちが最も偉大なカリスマを熱く求めてください。最高の道としてそれをあなたたちに示します。』・・・何が示されたのか?『たとえ私が異なる言葉で話し、み使いの言葉で話せたとしても、人を大切にしないなら私は音を立てるドラ。けたたましいシンバルです。』・・・これを従来何と訳してきたか。

「もし私が人を愛さないなら、私は音を立てるドラ、けたたましいシンバルです。」こんな翻訳がまかり通ってきたから、大切にすることよりも愛するってことをやたらリキを入れてしまった。

「例え、私が予言する力を持ち、神秘の全てあらゆる知識に通じていて絶対の信仰を持って歩みを起こし、山を移すことができたとしても、人を大切にしないなら（愛さないなら、じゃないんですよ）、人を大切にしないなら、私に適するところはありません。」

表現としては「大切に」、愛っていう言葉よりちょっとめんどくさいでしょ、煩わしいでしょ。だけど煩わしいの我慢してください。「大切に」。だって、自分が一番してもらいたいのは、愛されることよりも大切にしてもらおうことでしょう。正直言って、自分の好みに合わない人から愛する・愛してるよ・愛してるよって言われたら鬱陶しいでしょ。そんなことで騙されないでください。

大切にすることの方が、キリストがわたしたちに求めた「アガペー」。

皆さんのいのちの電話、私は皆さんのやり方に信頼して、すごい経験を積み上げてらっしゃるから、こうしましょう、ああしましょうとは言いません。ただ参考として、愛することよりも大切にすること、これの大事さを、ちょっと気を留めて考え直してみてください。

とてもいいかげん長い付き合いになってしまったご夫婦がいて、今更、愛するなんて気持ちになれやしないよって、そういう人結構いると思います。うちのおふくろもそんな感じでした。ね、親父に対してね。だけど、それでも大切にしようとしてみたい。

愛せないからもう終わり、さよならじゃないんですね。愛せなくても大切にすること。ひょっとしたらできるんじゃない?って、こういう関わりが大事かもしれないねえ。

ご寄付・ご支援ありがとうございます

いのちの電話の運営は、皆様からの浄財によって賄われております。2022年4月～2022年9月に賛助会費や寄付

金を頂戴した皆様のお名前(敬称略)を記し、感謝の意を表します。また、お名前は省略しますが、物品寄付もたくさん頂戴しました。ありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

賛助会費

(698,000円)

<個人>	相川 勝代	青山 周広	麻生 忠史	熱田 絵美	荒川 明継	井口 元孝	泉 博正
	井石 哲哉	井石八千代	伊藤美智子	稲田 栄司	稲澤 陽三	今村由紀夫	岩永 信一
	江良 修	大浦 幸子	大西由紀子	小笠原 克	尾崎 節子	押淵 礼子	柿田 淳
	片岡寿美子	片山 仁志	川口 徹男	川越 孝洋	川崎 澄雄	川浪由喜子	北島 陽夫
	草場 里見	後藤美佐子	小中恵理子	迫 龍二	佐藤 豊	柴田 芳男	清水 哲夫
	田口 春男	田中 一成	田中 匡子	田中 悟郎	田中純智男	富永 裕之	永石 賢二
	中島 正実	中谷三千代	中村 政子	野口 一男	波多野 徹	林田 清	原口 俊哲
	平山由美子	廣田 典祥	福島 建一	藤澤久美子	藤野 了	古川サキ子	本田 圭助
	松元 定次	三根真理子	都野 弥生	山口 力	山本 幸子	吉田 修司	吉田 晴久

<法人・団体> * 一般社団法人佐世保市医師会

* 医療法人 檜山会 中澤病院 院長 中澤 和嘉

* 医療法人 稲仁会 理事長 出口 剛

* 医療法人 清潮会 三和中央病院

* 学校法人 純心女子学園

* 学校法人 向陽学園 理事長 烏山 雅之 * 飯島商事(株)

* 有限会社 グループホーム・元気の家

* 合同会社 伴走舎相談支援センター 道しるべ

* オーク薬局 代表取締役 大間 賢一

* 常在寺住職 合川 天心 * 西九州マリンサービス(株)

* ダイエー工業株式会社

* 司法書士 吉田 省三 * (株)大通エージェンシー * テクノ通信株式会社

寄付金

(1,680,000円)

<個人>	浅場 知毅	有永 裕之	石丸 栄子	一ノ瀬幹子	内野 裕子	浦川 一孝	江藤小夜子
	大川理恵子	大富 英生	大脇 京子	岡 六四	奥野 素子	奥村 典男	押淵 礼子
	小野 靖彦	梶原 一乗	片岡寿美子	川端 辰長	川原ゆかり	北村 弘子	北村 雅夫
	木下 洋子	清原 龍夫	熊崎 啓代	小杉 修代	小原 玲子	齋藤 瀧子	境 育子
	三矢 泰彦	下山 高生	下山 時生	庄司 千香	末長 裕幸	砂川 久子	平 稔
	田中 直孝	田中 仁美	田村 繁幸	富永 裕之	富安 兆子	長田 由美	中村 尚志
	波多野 徹	浜崎 久美	林 克敏	原田眞奈美	平川 厚子	深堀千恵子	福田 豊

(8頁へつづく)

※シシ目で切り取ってご利用ください。
※払込手数料のご負担は不要です。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号及び金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。

・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

5万円以上
添 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

藤村栄三郎 船山 忠弘 古屋 治 堀本 進 本多 啓子 本多秀一郎 本多 玲子 町田トシエ
 松尾 恵子 松林 征子 三宅 通 三根真理子 宮崎 民子 宮田 雄吾 村川 吾太 森 光徳
 山下 末喜 山田 美保 渡邊 頼子 横田 実 吉野 朝子 吉野 和幸 吉野 大輔 渡邊 才人
 ユウ ウオンキョン

- <法人・団体> *長崎北ロータリークラブ *雪風 社会福祉士事務所 山口 史彦 *平坂製薬株式会社
 *医療法人 厚生会 虹が丘病院 *医療法人 橋口整形外科医院 理事長 橋口 隆 *明練寺
 *木村内科・循環器科 院長 木村幹史 *医療法人 たくま医院 理事長 詫摩 和彦 *昭徳寺
 *(医)山の手クリニック 院長 中谷 晃 *医療法人 増田整形外科 理事長 増田 賢一 *唯念寺
 *(医)山口内科 循環器内科 *(医)原田医院 原田 知行 *(株)チョープロ
 *千住 博 内科 *むたクリニック 牟田幹久 *大坪整形外科 大坪 義昌 *十八親和銀行 総務部
 *公認会計士・税理士 鳥巢維文 *長崎県民共済生活協同組合 *長崎いのちを大切にす会
 *弁護士法人 ふくざき法律事務所 *ネット・ウオーリアーズ 下條 優衣 *有限会社 関西工業所
 *アサヒ法律事務所 弁護士 梶村 龍太 *弁護士法人 大村綜合法律事務所
 *株式会社 ニーテックハマナカ

資金援助ボランティアとして活動を支えて下さい

「長崎いのちの電話」は、相談員をはじめ全てボランティアで運営されており、その活動は寄付金・賛助会費・助成金で賄われています。あなたも「資金援助ボランティア」として「長崎いのちの電話」を支えてくださいませんか。ご協力をよろしくお願いいたします。

毎年一定の資金援助して下さる方は、賛助会員となります。

★賛助会費

個人会費：1万円・5千円・2千円
 法人会費：5万円・3万円・2万円・1万円

★寄付金 金額は随意です。随時お受けいたします。

税制上の優遇措置があります

個人の場合：所得控除・個人県民税控除が受けられます。
 法人・団体の場合：損金算入が受けられます。

ご送金先 郵便振替 01870-3-40716

加入者名「社会福祉法人長崎いのちの電話」

※下部の払込取扱票を切り取ってご利用いただくと便利です。
 ※なお、局のATM・窓口での現金払込の場合は、加算料金110円がかかります(口座からの支払いの場合は、無料です)ので、ご留意願います。

●銀行振込の場合は、下記普通預金口座にお願いいたします。

- ・十八親和銀行/本店営業部 No.595451
- ・長崎銀行/千歳支店 No.2135124

口座名義は、「社会福祉法人長崎いのちの電話 理事長 古賀義」
 【シャ）ナガサキノチノデンワ リジチョウ コガタダシ】

★現金払込の場合は110円の料金負担をお願いします★

払込取扱票

02	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。		通常払込料金 加入者負担	
口座番号		口座番号(右詰で記入)		金額
018703		40716		千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	*(社福) 長崎いのちの電話		料金	備考
通信欄	<input type="checkbox"/> に✓を入れ、賛助会費または寄付、金額をご指定ください。 <input type="checkbox"/> 賛助会費 個人会費 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> 5,000円 <input type="checkbox"/> 2,000円 法人・団体会費 <input type="checkbox"/> 50,000円 <input type="checkbox"/> 30,000円 <input type="checkbox"/> 20,000円 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> 寄付 (金額は随意です)			
依頼人	干 ※ おだいじ おなまえ ※		日	附 印
(ご連絡先電話番号)		-		様

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
 これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	018703		通常払込料金 加入者負担
加入者名		*(社福) 長崎いのちの電話	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円		
おなまえ	*		
依頼人	日 附 印		
料金	円		
備考			

※シン目で切り取ってご利用ください。
 ※皆様のご支援をお待ち申し上げます。

この受領証は、大切に保管してください。